



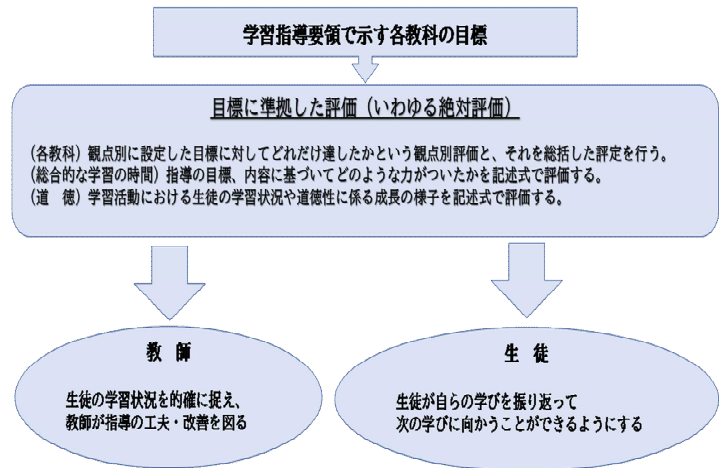
## 「師走」「年の瀬」の語源とは

新型コロナウイルスの5類への以降に伴う規制の緩和、また、記録的な猛暑をはじめ、いろいろとあった2023年も残り1ヶ月を切りました。1年を総括するこの時期を表現するのが「師走」「年の瀬」といった言葉ですが、「師走」の意味が「師も走るほど忙しい」と言うことから、いつの間にか「先生（師）も走るほど忙しい」と言った意味に捉えられているようです。ですが、そもそも師走の「師」とは、お坊さんを指した言葉なので、「先生（師）も走る」語源説は後付けのようです。また、「年の瀬」の「瀬」は、水の流れを表す言葉で、川の流れが急なところを指すそうです。川の流れが緩やかな場所を「淵」と言い、流れが速い場所を「瀬」と言うところから、年の終わりが差し迫って、「瀬」のように時が慌ただしく流れていく様子を比喻した言葉だそうです。そういった意味から「師走」「年の瀬」ともに心の慌ただしさを表現していますが、保護者、生徒の皆さんも同じような心情ではないでしょうか。特に3年生にとっては三者面談が始まり、いよいよ上級学校への進路決定の時期となりました。冬季休業日に入る前の12月25日(月)には、通知表が配布されますが、3年生にとってはその評価評定が進路決定に大きく左右されます。そこで、今一度評価評定のあり方についてご説明します。1, 2年生の皆さんも、よく確認しておいて下さい。

### (1) 第二中学校の評価・評定についての考え方

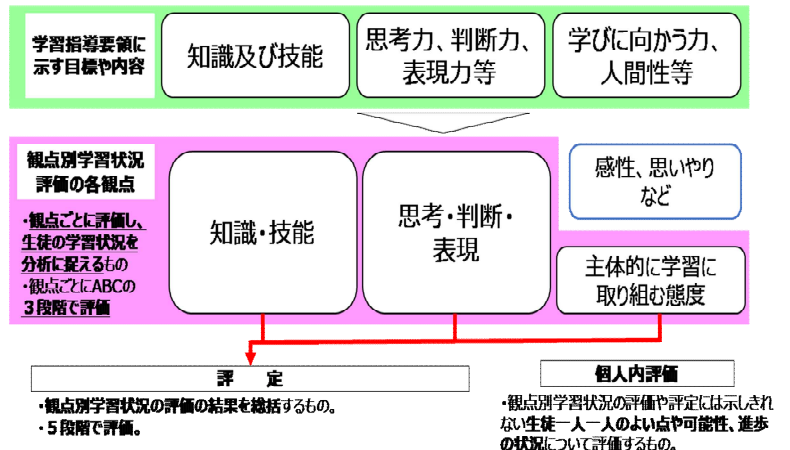
評価・評定については、学習指導要領で示されている各教科の目標にあわせて、各教科において観点別に設定した目標にどれだけ達したかという観点別評価A～Cの3段階で評価し、それを総括して1～5の5段階で評定を出します。「総合的な学習」の時間においては、指導の目標、内容に基づいて、どのような力がついたかを記述式で評価します。「特別の教科道徳」では、学習活動における生徒の学習状況や道徳性にかかる成長を記述によって評価します。

評価を行う目的は、我々教師にとっては「生徒の学習状況を的確に捉え、自身の授業改善やさらなる工夫に努める」ために行います。また、生徒のみなさんには、単に「よかった」「悪かった」「上がった」「下がった」にとどまらず、結果を踏まえて、新たな目標を設定したり、取り組みの仕方を考えなおしたりするなど、次の学びへつなげてほしいと思っています。



### (2) 各教科における評価の基本構造

学習指導要領では、生徒に知・徳・体にわたる「生きる力」をはぐくむために、すべての教科の目標および内容「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力」、「学びに向かう力、人間性等」の3つを育成を目指す資質・能力の柱としています。観点別学習状況の評価については、この3つの柱を踏まえて、全教科で①知識・技能、②思考・判断・表現、③主体的に学習に取り組む態度、感性、思いやりなどの3つになりました。これらの3つの観点は、A、B、Cの3段階で評価しますが、「感性、思いやりなど」については、生徒一人ひとりの良い点や可能性、進歩の状況について評価をするため、A、B、Cや数値的な評価にはそぐわないため、個人内評価として、お伝えしておきます。



### (3) 観点別学習状況の評価と評定の関係

観点別学習状況の評価は、学習指導要領に示されている各教科の目標に照らして、その実現状況を観点ごとに評価し、各教科の評定を行う際の基本的な要素になります。観点別学習状況の評価を総括した数値が評定です。図に示したように、実現状況（達成度）に合わせて、Aは80%以上、Bは50%～80%未満、Cは50%未満となります。観点別学習状況の評価のAについては、その実現状況に幅があり、Bに近いAもあるため、各観点すべてがAであったとしても、必ずしも評定が5になるとは限りません。また、同様に、観点別学習状況の評価のCについてもBに近いCもあるため、各観点がすべてCであったとしても、必ずしも評定が1になるとは限りません。

観点別学習状況の評価		学習の実現状況	各評定の範囲		評定
A	十分満足できる	80%以上	90%以上	5	特に高い程度のもの
			80%～90%未満	4	十分満足できる
B	おおむね満足できる	50%～80%未満	50%～80%未満	3	おおむね満足できる
			20%～50%未満	2	努力を要する
C	努力を要する	50%未満	20%未満	1	一層努力を要する

◎各観点すべてがAならば → 評定は4以上になる（3, 2, 1にはならない）  
 ◎各観点すべてがBならば → 評定は3となる（5, 4, 2, 1にはならない）  
 ◎各観点すべてがCならば → 評定は2以下となる（5, 4, 3にはならない）

※各観点がすべてAでも、必ずしも5にはなりません。  
 また、各観点がすべてCでも、必ずしも1にはなりません。

### (4) 評定のあり得る可能性

上記(3)の「観点別学習状況の評価と評定の関係」を具体的に数値で示します。

評価のカットポイント : A ≥ 80% > B ≥ 50% > C																
評定のカットポイント : 評定5 ≥ 270 (90%) > 評定4 ≥ 240 (80%) > 評定3 ≥ 150 (50%) > 評定2 ≥ 60 (20%) > 評定1																
				最大値									最小値			
Aの数	Bの数	Cの数		5	4	3	2	1	観点1	観点2	観点3	達成度	観点1	観点2	観点3	達成度
3	0	0	AAA	○	○				100	100	100	300	80	80	80	240
2	1	0	AAB	△	○	○			100	100	79	279	80	80	50	210
2	0	1	AAC		△	○			100	100	49	249	80	80	0	160
1	2	0	ABB		○	○			100	79	79	258	80	50	50	180
1	1	1	ABC			○	○		100	79	49	228	80	50	0	130
1	0	2	ACC			○	○		100	49	49	198	80	0	0	80
0	3	0	BBB			○			79	79	79	237	50	50	50	150
0	2	1	BBC			○	○		79	79	49	207	50	50	0	100
0	1	2	BCC			○	○	△	79	49	49	177	50	0	0	50
0	0	3	CCC				○	○	49	49	49	147	0	0	0	0

表の中の観点1は「知識・技能」、観点2は「思考・判断・表現」、観点3は「主体的に学習に取り組む態度」となり、観点ごとの重みづけは行わず、均等に100点で配当し、教科の特性によって違いはありますが、3観点ごとにそれぞれの評価材料が盛り込まれます。定期テストや単元テスト、小テスト等の問題構成もこの3観点に分かれて原則作成されています。定期テストの解答用紙の採点欄には「知識・技能：○○点」、「思考・判断・表現：○○点」、「主体的に学習に取り組む態度：○○点」、合計100点となっているのはそういった理由からです。

よく今回の定期テストで90点を取ったので評定は「5」では？といった質問をしてくる生徒がいますが、そのテストの問題構成が「知識・技能：40点」、「思考・判断・表現：50点」、「主体的に学習に取り組む態度：10点」であったとして、90点の内訳が「知識・技能：40点」、「思考・判断・表現：50点」、「主体的に学習に取り組む態度：0点」だった場合観点1は100、観点2は100、観点3は0となり、3観点の達成度合計は200となるため、仮に1回のテストだけで評定を出すとしたら、「評定3」となります。つまり、テスト問題の3観点がまんべんなく取れていれば（例：80・80・80＝240：評定4）となるわけです。また、この他に3観点ごとに評価材料（観察、生徒との対話、ノート、ドリル、ワークシート、作品、レポート、小テスト、授業後の振り返り（感想）等）が盛り込まれます。

3年生は、受験に向けて仮内申が11/28に示されました。仮内申の結果は、4月から11月までの成績を加味したもので、11月に行われた定期テストⅢでテストの成果をあげても、定期テストⅠ、Ⅱの結果が反映されるため、上記の表に示した3観点のテストⅠ、Ⅱでの達成度が低ければ、定期テストⅢで点数を上げてても劇的に達成度の総数が上がることはありません。ですから、定期テスト以外にも日常の授業へ取り組む姿勢、提出物の厳守等々、高い意識をもって学校生活を送らなくてはなりません。それは、3年生だけに限ったことではありません。その目的は、社会に出る準備につながります。中学校は義務教育ですが、高校は生徒個々の意思で進む場所です。皆さんは18歳で成人となります。高校卒業後に社会人となる自覚を今からもち、学校生活を送ることが必要と考えます。

## (5) 各観点について

では、最後に各観点について見取る力について説明します。

「知識・技能」については、各教科における生徒の学習状況を通じた知識・技能の習得状況を評価するとともに、それらを生徒が既存の知識及び技能と関連付けたり活用したりする中で、ほかの学習や生活の場面でも活用できる程度概念などを理解したり、技能を習得したりしているかについて評価をします。

「思考・判断・表現」については各教科等の知識及び技能を活用して課題を解決するなどのために必要な思考力、判断力、表現力等を身につけているかどうかを評価する。

「主体的に学習に取り組む態度」については、知識及び技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身につけたりすることに向けた粘り強い取組を行おうとしているかどうか、またそれを行う中で、自らの学習を調整しようとしているかどうかを評価します。

学習指導要領に示された「学びに向かう態度・人間性」には、①主体的に学習に取り組む態度として観点別学習状況の評価を通じて見取ることができる部分と、②観点別学習状況の評価や評定になじまない部分があります。

ですから、①については、知識及び技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりすることに向けた粘り強い取組の中で、自らの学習を調整しようとしているかどうかを含めて評価します。

②については、個人内評価（生徒一人一人の良い点や可能性、進歩の状況について評価するもの）等を通じて見取ります。特に「感性や思いやり」など生徒一人一人の良い点や可能性、進歩の状況などについては、積極的に評価し生徒に伝えることが大切となります。

観点別学習状況評価の各観点に示された「主体的に学習に取り組む態度」の評価については、①知識及び技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりすることに向けた粘り強い取組の中で、②自らの学習を調整しようとしているかどうかを含めて評価します。

これら①②の姿は、実際の教科等の学びの中では別々ではなく相互に関わり合いながら立ち現れるものと考えられます。例えば、自らの学習を全く調整しようとせず、粘り強く取り組み続ける姿や、粘り強さが全くない中で、自らの学習を調整する姿は、一般的には考えられません。

ですから、「主体的に学習に取り組む態度」の評価は「知識・技能」や「思考力・判断・表現」の観点の状況を踏まえた上で評価が行われます。

### \*「知識・技能」

各教科における生徒の学習状況を通じた知識・技能の習得状況を評価するとともに、それらを生徒が既存の知識及び技能と関連付けたり活用したりする中で、ほかの学習や生活の場面でも活用できる程度概念などを理解したり、技能を習得したりしているかについて評価する。

### \*「思考・判断・表現」

各教科等の知識及び技能を活用して課題を解決するなどのために必要な思考力、判断力、表現力等を身につけているかどうかを評価する。

### 「主体的に学習に取り組む態度」

知識及び技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身につけたりすることに向けた粘り強い取組を行おうとしているかどうか、またそれを行う中で、自らの学習を調整しようとしているかどうかを評価する。

#### 「主体的に学習に取り組む態度」イメージ

例えば、二次方程式の解き方(中3)の授業で...

既習の二次方程式の解き方を振り返り、授業では何ができて何ができなかったのか、より良く解くにはどうするかなどを考える



考えたことをまとめて共有する

ただ問題を解いて答え合わせをして終わりだけではなく、授業を振り返って考えたことを基に次の学習に生かす

- ・自らの学びの過程を蓄積し、成長を確かめられるようにする。
- ・友達からの視点を取り入れることができる

学校は、平成29年に改訂された学習指導要領の内容を受けて評価の観点を整理し、「指導と評価の一体化」に向けた学習評価に取り組んでいます。生涯にわたり学習する基盤が培われるよう、基礎的な「知識及び技能」を習得させると共に、これらを活用して課題を解決するために必要な「思考力、判断力、表現力」その他の能力を育み、主体的に学習に取り組む態度を養うことに注意を図りながら取り組んでいます。

# 12月行事予定表 (家庭用)

今月の目標: 将来への展望... 落ち着いた生活をしよう

日	曜	行 事 (授業日数18日)	会議・生徒会・その他	時程	学習室	給食	1月行事予定(18日)			
							日	曜	行 事	給食
1	金	三者面談				○	1	月		
2	土						2	火		
3	日						3	水		
4	月	学年朝礼				○	4	木		
5	火	安				○	5	金		
6	水					○	6	土		
7	木	三者面談終				○	7	日	冬季休業日終	
8	金	避 専門中央			★	○	8	月	成人の日	
9	土	土曜授業 道徳授業地区公開講座 保護者会(1・2) 生徒会交流会			★	×	9	火	全校集会 安	○
10	日						10	水	職	○
11	月	生徒朝礼				○	11	木	専門・中央委員会 事前検診(2)	○
12	火					○	12	金	避	○
13	水					○	13	土	土曜授業	×
14	木					○	14	日		
15	金	入試相談開始				○	15	月	生徒朝礼	○
16	土						16	火		○
17	日						17	水		○
18	月	朝礼				○	18	木		○
19	火	昼学活				○	19	金	校外学習(1)	○
20	水	小中連携協議会			★	○	20	土		
21	木	昼学活				○	21	日		
22	金	大掃除				○	22	月	学年朝礼	○
23	土						23	火	宿泊事前健診(2)	○
24	日						24	水	職	○
25	月	全校集会				○	25	木	スキー教室(2)始	○
26	火	冬季休業日開始					26	金	連合作品展開始 都立推薦入試	○
27	水						27	土	スキー教室(2)終 都立推薦入試	
28	木	教育活動休止日					28	日		
29	金						29	月	振替休業日(2)	○
30	土						30	火	スキー教室前検診(1)	○
31	日						31	水	職	○
備考										